

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2015-16 Rotary International District 2760 ガバナー月信

2016
May

5



写真:雲興寺

※掲載されている写真等の無断転載はご遠慮ください。



Be a gift to the world

世界への
プレゼントになろう



CONTENTS

- 02 ガバナーメッセージ
 - 03 青少年奉仕月間
 - 06 環境保全週間
 - 07 熊本地震災害支援物資を届けに熊本へ
 - 08 ガバナーエレク活動報告
 - 14 東日本大震災チャリティコンサート2016
- 【周年式典報告】**
- 15 ○知立ロータリークラブ
 - 16 ○名古屋みなとロータリークラブ
 - 17 ○豊橋南ロータリークラブ
 - 18 ○名古屋錦ロータリークラブ
- 【委員会報告】**
- 09 ○3人目のロータリー平和フェローが承認
 - 10 ○青少年交換学生白馬スキーの集い
 - 11 ○「地区RYLAセミナー」報告
 - 12 ○2015-16年度「地区被災高校生支援委員会事業」報告
 - 13 ○2016学年度 米山記念奨学生オリエンテーション
 - 19 ロータリーコーディネーターニュース
 - 20 ハイライトよねやま
 - 22 文庫通信
 - 23 会員数及び出席報告



ガバナーメッセージ

ガバナー 加藤 陽一

「被災高校生支援プロジェクト」について

2016年3月26日、27日と第2520地区(岩手・宮城)の地区大会に千田毅パストガバナー、本多満委員長はじめ数名の委員と共に出席し、2012-13年度(千田ガバナー)に発足した被災高校生支援プロジェクトの終了式に参加してまいりました。

このプロジェクトは、東日本大震災で被害を受け経済的に打撃を受け高校進学に困難な生徒を対象として高校を卒業するまで支援する、3年間にわたる事業で私たち第2760地区と第2520地区でスタートした事業です。

2012年5月岩手県教育委員会に事業内容を説明し、協力依頼をいただき被災地の中学校に募集告知をする事からスタートしました。

2012年7月～9月に当地区83RCへ募金を開始した結果42,000千円の募金が集まり、2012年10月第2760地区地区大会にて、千田ガバナーより第2520地区小野寺ガバナーに(二戸RC)奨学金事業の目録の贈呈をしました。

2013年3月奨学生の高校入学が決まり第2520地区のサポートRCより34名の高校生に対し、奨学金18万円(6ヶ月分)と入学祝金7万円、合計25万を贈呈する事ができました。

その後、第2760地区・第2520地区の交流を数多く行い、本年4月には34名の高校生が、めでたく高校を卒業し、社会人として、大学生として巣立って行きました。第2760地区内クラブの皆様、3年間のご協力本当にありがとうございました。お陰様で2地区協同での素晴らしい事業となりました。

この事業はこれで終了しましたが、「ロータリー希望の風奨学金」はまだまだ続きます。被災高校生支援プロジェクト同様これからもよろしく願いいたします。

BE A GIFT TO THE WORLD !!



青少年奉仕月間 I

青少年奉仕月間について

地区青少年奉仕委員会 委員長 寺本 善雄



ロータリーの青少年のための活動は、1920年5月、ニューヨークのロータリークラブが地元団体と協力して行った「Boys' Week (少年週間)」が始まりと言われています。長い歴史を持つロータリーの青少年奉仕活動の目指すものはなんでしょう。標準ロータリークラブ定款第5条には、「奉仕の第5部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年並びに若者にとって、好ましい変化をもたらされることを認識するものである」と目的が明記されています。好ましい変化とは、「高い倫理観を持ち、地域社会に貢献し、国際理解と平和を推進する若者を育てる」こと、すなわちロータリーの持つ価値観を若者に伝えることと考えます。

インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換の4つの事業は、それぞれの切り口で青少年への我々の夢をかなえるべく、活動しております。

地区青少年奉仕委員会は、関連4委員会の活動の協調をはかり、総合力を高めるために、「地区青少年奉仕会議(青少年サミット)」の開催、「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」への参加、地区大会における、ロータリーの全ての青少年関係者が参加する「青少年ファミリー交流会」を実施し、相互交流と認知度の向上を図ってまいりました。

今年度は青少年奉仕月間が、前年度までの9月から年度終盤の5月に変わりました。そこで今年度は、5月15日に、本年度事業の成果と反省を踏まえ次年度へスタートを切る節目の会議として「第2回地区内クラブ青少年奉仕委員長会議」を開催します。本年度と新年度のクラブ青少年奉仕委員長にお集まりいただき、大いに意見交換をして、単年度では完結しない青少年奉仕事業を、未来につなぐ継続ある事業として一層の活性化を図っていきたいと思います。

ロータリー章典には「ロータリーの新世代プログラムは将来、すなわち、私たちの家族の未来、地域社会の未来、そしてロータリーの未来へとつながる」とロータリーの夢が書かれています。青少年奉仕活動に対する更なるご理解とご協力、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

青少年奉仕月間 II



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER May 2015-16 Rotary International District 2760



地区インタラクティブ委員会
委員長 **奥田 清仁**

ロータリークラブ奉仕の第5部門である青少年奉仕の常設プログラムの一つとしてインタラクティブクラブ(IAC)があります。インタラクティブクラブは12歳～18歳までの青少年のための奉仕クラブで、

ロータリークラブによって提唱されロータリアンの指導と支援のもとに地域社会に密着した奉仕活動を行っております。2760地区においては1964年に創立された豊川高校IACを初めとして17のインタラクティブクラブがあります。其々のクラブの特色を出しながら募金活動や障害児や高齢者の支援活動、地域の清掃活動等、活発に活動しております。近年は地区内クラブ同士の交流やインターネットを通じた情報の共有化、ロータリーファミリーを通じたネットワーク強化が進められており会員数の増加や新しい事業の取り組みが活発に行われてきております。また、『ワールドフード+ふれ愛フェスタ』では延べ200名以上の多くのインタラクティブが参加し、会場における清掃活動や地域のキャラクターの着ぐるみ活動、エンドポリオあと少しブース活動等、公共イメージの向上と認知度の向上のために積極的に活動してまいりました。今後とも提唱ロータリー様を初めとして地区役員の皆様、地区内の関係するすべての皆様に一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



地区ローターアクト委員会
委員長 **西本 一幸**

最近ローターアクトクラブ(以下RAC)の活動について良くも悪くも関心が高まってきたような気がしています。良いお話としては、新たに関心を持っていただくようになったロータリアン

が増えてきていること、RACに入会するメンバーが少しずつではありますが、増え始めていることなどです。一方で厳しいお話としては、提唱クラブさんにご負担いただいている活動費の見直しや、提唱そのものに疑問を呈する声などが聞こえてくるようになりました。こうして皆さんがRACについて議論いただけることは本当に嬉しく、もっともっとこうした声があちこちで聞かれ、地区内すべてのロータリアンに関心をもってもらえるような大きなうねりへと発展していくことを願っています。今年から5月が青少年のための月間に変更となりました。今一度RACについて皆さんで考える月間としていただきたく思います。できれば創立時の資料等に目を通していただくなど、どのような経緯でRACを提唱したのかを調べていただきますと、当時の皆様の並々ならぬ熱い思いが伝わってきて、気持ちを新たにRACと関わっていけるのではないかと考えています。是非一度歴史を覗いてみてください。今度ともRACへのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

青少年奉仕月間 III



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER May 2015-16 Rotary International District 2760



地区RYLA委員会
委員長 **竹内 幹尚**

青少年奉仕関連4委員会の中RYLAは唯一(14歳から30歳)誰もが参加できる青少年プログラムです。提唱クラブを持っていません。RIの戦略計画の中の「効果的な奉仕活動を推進する

(Collaboration)」に一番ふさわしく活動ができるプログラムでもあります。インターアクト、ローターアクト、青少年交換インバウンドも含めた青少年が積極的にRYLAに参加する一方、青少年の架け橋であり、リーダーの育成にもっとも効果的な要素があります。特にRYLAは「高潔性」「リーダーシップ」と関連があらうと思います。RYLArian(Awards授与生)たちが地域、国、世界のリーダーとなり、将来ロータリーの理念に賛同し、ロータリアンになることを期待します。次年度は第25回RYLAセミナーを2017年3月25日・26日に豊田RCをホストクラブで開催を予定しています。



地区青少年交換委員会
委員長 **岡田 雅隆**

人生を変えるような貴重な経験を一人でも多くの若者に体験してもらいたい。そんな思いを形にできるのが『ロータリーの交換留学』です。学生たちが異国での文化や習慣に1年間の留學

生活において触れることにより、グローバルな理解が芽生え平和への土台が気づかれます。更に、その恩恵は学生たちだけにとどまらず、留学生をお世話していただくロータリークラブやホストファミリーの皆さんまでにも及びます。1972年、国際ロータリー理事会は価値ある国際的な活動として世界中のクラブに青少年交換を推奨することに同意しました。今日、毎年8000名以上の青少年交換学生が海外に渡り、およそ80カ国で生活し、勉学に励んでいます。当地区の1964年の交換留學事業開始以来、現在まで400名を越す学生を派遣し受入れを実施していました。これからも、ずっと継続されていくと思います。この古くて新しいロータリーらしい事業に是非ともご協力いただき、ご参加ください。





環境保全週間について

地区社会奉仕委員会 副委員長 杉浦 文雄



日頃は各ロータリーの社会奉仕委員長、環境保全委員長、RCC担当委員長の皆様には大変お世話になっております。

当委員会は主に各ロータリーの皆様の活動情報の収集をさせていただき、5月に開催される委員長会議におきましてその情報をまとめたものを発信させていただいております。特に環境保全に関する各ロータリーの皆様の活動は多くの活動実績がございます。それぞれの地域に密着したもの、長年その地域にはなくてはならないものなど毎年、当委員会で情報収集をするのですが、素晴らしいなあ、と感心する実施例ばかりです。

「ロータリーを多くの市民の皆様を知っていただく」という点におきましては、地域で環境保全活動をされることが最適かと思います。今年度もガバナーをお招きし、5月18日地区内クラブ社会奉仕委員長会議が開催されその折に各クラブの環境保全活動実績や社会奉仕活動、RCC活動の記録を公表、情報として提供させていただく予定です。各クラブ様の参考になればと思います。

そして当委員会のもう1つの活動として愛知県環境部との連携、情報発信があります。地区に環境保全委員会があった時からのおつきあいが続いており、特に「あいち生物多様性戦略2020」の会議への参加、またそこでの情報発信をさせていただいております。「人と自然が共生するあいち」の実現が基本目標に掲げられており、地区内のロータリー活動と一致、重なりあうものがたくさんあります。当委員会にお問い合わせいただければ情報、資料等をお渡しできます。ぜひご活用ください。

以上、環境保全週間について当委員会からのお伝えしたい事、とさせていただきます。



熊本地震災害支援物資を届けに熊本へ

地区幹事 大竹一義



支援物資を積んで熊本へ出発!



4月25日、第2760地区を代表し、地区社会奉仕委員会・鈴木委員長(あまRC)がガバナー事務所より、加藤陽一ガバナーが見送る中、自身の運転で熊本へ出発しました。

翌、4月26日、熊本県菊池郡にある大津町立大津中学校にて、第2720地区の肥後大津ロータリークラブにご協力いただき受け渡し完了致しました。

支援物資に関しましては、地区社会奉仕委員会が発端となり、地区委員会の皆様にご協力をいただき、届ける事ができました。

今後、第2760地区の皆様にご支援いただきました義捐金も送付予定です。

皆様のご協力、心より御礼申し上げます。

中部経済新聞より

R1第2760地区
支援物資を送り出す
国際ロータリー第2760地区(愛知県)は25日、熊本地震災害の救援物資を熊本県と天分県をテリトリとする第2720地区に



支援物資を送り出す加藤ガバナー(右から2人目)

贈った。贈ったのは、現地から要望のあったブルーシート290枚、作業服一式や大人・小児用おむつ380個、歯磨き粉600個などの災害復旧用品と生活必需品。救援物資を満載した4ト

トラックは、第2760地区の鈴木委員長が運転して25日午後1時に名古屋を出発。26日午前11時に現地窓口の肥後大津ロータリークラブに届ける。同地区の加藤陽一ガバナーは「とりあえず現地から希望のあった物資を贈ったが、今後も義援金や災害復旧物資の寄贈などの支援を続けて1日も早い復旧への



無事に届けることができました!



手助けをしていく」と話している。

目録

- おむつ 三八〇個
- ウェットティッシュ 一〇〇個
- 生理用品 一八〇個
- 歯磨き粉 六〇〇個
- 口唇洗浄液 二四〇個
- ハンドソープ 二〇〇個
- 洗剤 一〇〇個
- 作業服 一式
- ブルーシート 二九〇枚

☆ 御見本品として贈りました

平成26年4月26日
国際ロータリー第2760地区一同

国際ロータリー第2720地区 御中



2016-17年度 地区研修・協議会のための指導者会議報告

次期地区副幹事 林 和夫



平成28年4月3日(日)ウェスティンナゴヤキャッスルにおいて、2016-17年度「地区・協議会のための指導者会議」が岡崎城南ロータリークラブのホストで開催されました。次期地区委員長をはじめ、ガバナー、ガバナーエレクト、次期研修リーダー等の多くの役員が参加されました。

服部良男ガバナーエレクトは、地区方針として「Be The Rotarian, Find A Rotarian ～真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう～」を掲げ、「ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、倫理観と高潔さを失わず、人びとに奉仕(Service)し、世界理解、親善、平和を推進することです。」と述べられ次のように語られました。

ロータリーには、5つの中核的価値、すなわち、親睦(Fellowship)、高潔性(Integrity)、多様性(Diversity)、リーダーシップ(Leadership)、奉仕(Service)があり、これがロータリーのブランドです。我々は、ロータリーのブランドを再認識し、自ら人道的奉仕活動に参加し、人を笑顔にしましょう。そして、地球上からポリオを撲滅し世界のロータリアンと祝いましょう。ロータリーのブランドを地域の人々に伝え、新しいロータリアンを仲間として迎えましょう。そのためには、地区の委員会のメンバーおよび各クラブの理事・役員そして新入会員の方々がまずはインターネットの「マイ ロータリー」に登録し、ロータリーのブランドを認識し、積極的に我々地区の人道的奉仕活動を広報しましょう。各クラブでソーシャルメディア(Facebook, Twitter等)を開始し、地域の人々にロータリーのブランドを知ってもらいましょう。

その後、ガバナーエレクトの地区方針の下、開催された「分科会別会議」では、地区研修・協議会における研修内容、進行手順等につき、熱心に協議が行われ「人類に奉仕するロータリー」に向け始動しました。



「宇治川貴史さん」(スーダン在住) ロータリー平和フェローに承認されました

地区奨学基金・学友・平和フェローシップ委員会 委員長 小島 哲夫



このたび、当地区より3人目のロータリー平和フェローが承認されました。

本年8月より2年間、 Upsala University (スウェーデン) ロータリー平和センターにて将来の平和構築の活動に向けて学ぶこととなります。当地区では、2010-12年度クィーンズ大学に留学した水野真希さん、2015-17年度、ノースキャロライナ大学チャペルヒル校に留学中の澤屋奈津子さんに次ぐ3人目となりました。ロータリー平和フェロー修士コースは世界中で年間50人しか承認されない難関の奨学金制度で、日本では年間1~2人程度の承認状況です。

彼は、神戸大学で国際政治学を学びつつ、ザンビアで6ヶ月間のボランティア活動を経験しています。2013年よりNGOに勤務し、その後現在に至るまでスーダンにて活動中です。スーダンでは何十年も戦争が続いていて、戦争の影響で残った地雷や戦争残存物から命を守るために、危険地域に住む人々に教育を行っています。

また、現地には50度を超える酷暑の中、衛生環境が劣悪で、トイレすらない地域もたくさんありますが、そういった地域の人々の命と健康を守るために、給水施設整備やトイレ建設などの活動もしています。スーダンでの活動により、紛争の影響を目の当たりにし、平和構築の難しさを痛感すると同時に誰もが平和を希求していると感じ、ロータリー平和フェローを通じて、平和を見つめ直し、平和構築のために各機関や市民が果たすべき役割を学ぶことを望んでいます。それは授業だけでなく、フェローシップでの活動や様々なフェローとの交流を通して学べるということの信念のもとに今回の申請をし、フェローシップ終了後には、平和構築の一端を担う人材になることを目標としています。

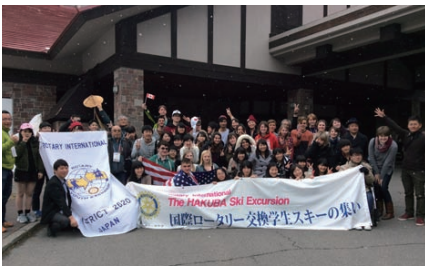
【写真はすべてスーダン共和国に於ける活動風景】





第29回白馬RC主催 5地区合同交換学生スキーの集い

地区青少年交換委員会 委員 吉岡 秀記



今回で29回目を数える青少年交換学生白馬スキーの集いが3月22から24日の2泊3日の日程で開催された。例年参加の愛知2760地区、岐阜三重2630地区、山梨静岡2620地区、長野2600地区に加え、青森2830地区からも初の参加があり5地区合同の大規模開催となった。さらに今年は初めて4地区のガバナーも参加され、各地区委員長以下委員の皆さん、インバウンド、アウトバウンド候補生、帰国生、設営して頂いた白馬クラブ、白馬高校の皆さんなど総勢140人が集った。最初は硬い表情の子ども達も、地区別のオリエンテーション、地区対抗出しもの、記念例会、懇親会などを通して次第に打ち解けあい、地区や国境を越えて友情を育んだ。また、この夏海外に飛び出す候補生にはパワーポイントを使った自己紹介の練習機会を与えている。英語での表現力を磨くこのプレゼンテーションは、海外での例会時卓話に必要なため2760地区が数年前から行い始め、今年は他地区も当地区を見習って導入した。そして今回は初の試みとして白馬東急ホテルを貸し切った開催としたため、ロビーに特設したDISCO in HAKUBAで夜遅くまで盛り上がった。また、子ども達は壮大な白馬の春スキーを堪能した。



当2760地区の岡田委員長は9年間の永きにわたり交換学生のために尽力され、直近5年間は委員長として大活躍された。全国の青少年交換委員長の間で岡田委員長を知らぬ者はもぐりとまで言われる名物委員長にとって今年が最後の白馬となり、参加者全員から賞賛と感謝の喝采を浴びた。

次年度白馬の集いはいよいよ30回を数え、2017年3月21日開催予定。30周年の記念大会となる。今回以上に盛大に開催するため、5地区から全ガバナーと関係委員の参加が望まれる。未来ある子ども達育成の一翼を担う青少年交換委員会の最も大きな年間行事の一つである白馬の集いが、次年度も盛大に行われることを願い、ロータリアンの皆様のご理解とご協力をお願い致します。



「地区RYLAセミナー」報告

地区RYLA委員会 委員長 竹内 幹尚



国際ロータリー第2760地区第24回RYLAセミナーを3月26日・27日に無事終了することができました。天候にも恵まれ、設営、運営面ではホストクラブ名古屋北RCの皆様を始め、関係の皆様に変なご尽力を頂き、厚く御礼申し上げます。

今年度は「受講生が主役」を主眼目的にして、RYLA委員会とRYLA学友会(RAINBOW CORPS)が一体となってセミナー内容の充実を図り、各分科会のカリキュラムを高校生、大学生、社会人と分けて進めました。6分科会のファシリテーターすべてが違う形で議論を促していました。「纏まりそうで纏まらない。また、もどに戻ってしまい、意見も出なくなる」こんな空気を十分に出すことも出来ました。そのくらい受講生が集中していたからです。リーダーとしてどのように行動するか?どうしたら問題解決をする事が出来るか?チーム全体が納得して動くためには?そんな中全員が討論に参加する事、自分自身の立場や行動を明確にして自己を発見する、スキルを少しでも身につける。参加した受講生が良かったと思え、笑顔で終われるRYLAセミナーを開催できたと自負しています。

第24回RYLAセミナーが終わり、第24期RYLArian(Awards授与生)は115名誕生しました。これからの人生をリーダーとして生きるきっかけであり始まりです。毎年、青少年リーダー(RYLArian)を増やすことがRYLAの役目であり、将来地域のリーダーとして、ロータリアンとして活躍することを期待します。今後ともご支援ご協力を賜りたく、宜しくお願い申し上げます。



2015-16年度

「地区被災高校生支援委員会事業」報告

地区被災高校生支援委員会 委員 笹野 暢宏



3月26日(土)に仙台国際ホテル内会議室において、2015-16年度 被災高校生支援委員会の事業報告会が2520地区の関係者と共に合同で開催されました。4年前、盛岡の地でスタートしました被災高校生支援委員会の事業も、最後の会議を仙台の地で迎える事となりました。会議の中で、2520地区の小野寺ガバナーから「5年前の東日本大震災で被災された、当時中学生だった子ども達も2760地区の皆様のご支援のおかげをもちまして無事ご卒業されました」とご報告をいただき、千田パストガバナーからは2520地区の二戸RCを始めとしてサポートRC、NPOに対して本事業の協力を心から感謝を述べられました。また各クラブの担当者及び関係者の方々から34人の生徒達の卒業報告をいただき、会議が無事終了いたしました。

また子ども達の厳しい状況から徐々に明るさを取り戻していった話を、2520地区関係者が各々の熱い想いを乗せて報告しました。そして、昨年12月に被災高校生達との面談において、高校生達が今後の自分の向かうべき道をしっかり決めており、その決意についても熱く語っていたことで、この事業の重要性を再認識いたしました。その後の懇親会では、加藤ガバナーが参加され、被災高校生支援委員会 本多委員長を始めとする委員会メンバーと2520地区の皆様とで、本事業について夜遅くまで語り明かした事もご報告させていただきます。2日目は2520地区の地区大会に出席し、千田パストガバナーが被災高校生支援事業について菅原ガバナーから表彰され、千田パストガバナーから、2520地区の二戸RCを始めとした各サポートクラブの3年間にわたる協力に対して感謝を述べられました。

また地区大会に合わせて3月26日特別研修セミナーが開催され、齊藤直美RI理事エレクト(パストガバナー、豊田RC所属)が『これからのロータリー』をテーマとして、ご自身のRC体験をユーモアをまじえて、講演されました。たくさんのロータリー会員の笑いを誘い、和やかな雰囲気での講演となり、好評をえて終了しことを報告させていただきます。



2016学年度 米山記念奨学生 オリエンテーション

地区米山記念奨学委員会 委員長 **金田 英和**



米山記念奨学委員会は4月から新年度となり、新しい奨学生たちが各世話クラブへの配属となります。皆様の温かいご寄付のおかげをもちまして今年度は40名の奨学生を支援できます。内、9名が2年奨学で、1名が海外募集枠です。新規の学生は30名となります。

4月14日キャッスルプラザホテルにて、新規奨学生30名、指導教員21名、クラブ会長幹事、米山委員長、カウンセラーの皆様、総勢140名の出席を得てカウンセラー研修会と奨学生オリエンテーションが開催されました。第一部ではロータリアンの皆様と指導教員に出席いただき、米山記念奨学事業について、世話クラブカウンセラーの役割など研修しました。第一部終了後奨学生が入場し、カウンセラー、世話クラブの皆様とご対面です。優秀な学生ばかりですので、すぐにロータリアンとも打ち解けて会話が弾んでいました。第二部では、奨学生の世話クラブでの役割や、ルールについて説明し、ルールに従うことを確約書にサインし、晴れて新規米山記念奨学生が誕生しました。4月分の奨学金とバッジをひとりひとりに手渡し、世話クラブの皆様にも今後のお世話をお願いし閉会となりました。新規米山記念奨学生と、当事業の主役であるロータリアンの皆様のご活躍を祈念します。米山を楽しんでください。



名古屋地区ロータリークラブ合唱団連合会 東日本大震災チャリティコンサート2016

名古屋大須ロータリークラブ

鬼頭 茂成



4月21日(木)に「東日本大震災チャリティコンサート2016」を名古屋地区ロータリークラブ合唱団連合会主催で日本特殊陶業市民会館ビレッジホールにて開催しました。

冒頭、盛田和昭連合会会長が「このチャリティコンサートは東日本大震災が起こった年から行っています。10年を目標に掲げ今年で6回目となりました。しかし、今年は熊本で地震が起こり、被災地では皆様大変ご苦勞をしてみえる。このチャリティを一部熊本にも贈ったらどうでしょう。」と挨拶をされ、会場から賛同の拍手を頂きコンサートが始まりました。

第1部は、名古屋名南ロータリークラブ混声合唱団(名古屋名南RC)、メール・アカンターレ(名古屋東南RC)、コール・カメリア(名古屋名駅RC)、コール・スイーツ(あまRC)、オオスシンガーズ(名古屋大須RC)、コール・ロータリー名古屋(地区内15RC)の6合唱団が合唱を演奏しました。第2部はチャリティに賛同していただいた声楽家の演奏で、井原義則さん(テノール)、小林史子さん(ソプラノ)、夏目久子さん(メゾソプラノ)の素晴らしい歌唱を聴かせて頂きました。

その後、あしなが育英会の川本亜実さんに盛田会長から義援金の目録を贈呈しました。そして村松美和さんが、「東北の復興と熊本の支援に使わせていただきます。」と挨拶されました。最後に出演者、来場者全員で「ふるさと」を歌って閉会となりました。残念だったのが当日の天候で、あいにくの雨空のため入場者が少なく満席には至りませんでした。総額70万円の義援金が集まりました。その金額から、35万円を東北に、35万円を熊本のあしなが育英会の募金に送金します。皆様のご協力に感謝をしています。

周年記念式典報告 I



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER May 2015-16 Rotary International District 2760

知立ロータリークラブ 創立25周年記念例会の報告

知立RC 会長 上野 実



知立ロータリークラブは1991年の湾岸戦争の勃発日に、刈谷ロータリークラブをスポンサークラブとして鈴木孝平特別代表を始め刈谷クラブの会員のお世話により創立いたしました。当初は刈谷クラブと同じく刈谷商工会議所を例会場にしていましたが、1998年4月からは例会場・事務局ともに現在のホテルクラウンパレス知立に移転しました。多くの方々のご尽力により、知立クラブも今日まで着実に歩んでまいりました。

知立ロータリークラブ創立25周年記念例会は、3月16日午後6時からホテルクラウンパレス知立にて開催いたしました。25周年は内輪でお祝いしようという多くの会員の考えに基づき、記念例会として実施しました。知立市長 林郁夫様、例会場をお借りしているホテル社長 本多正幸様にご来賓としてご臨席を賜り、米山奨学生 馬雷様をゲストとしてお招きし、多くの会員・夫人が出席し、25周年を祝い、感謝し、楽しみました。

例会の中では、齊藤吉博25周年実行委員長が記念事業を発表いたしました。地区補助金対象事業でもある乳がん検診を開催し、多くの応募者の中から139名の検診を実施したこと、知立市の観光事業に役立つための寄付をしたことが報告されました。その寄付から知立市が購入されたものの一つが市のゆるキャラ「ちりゅっぴ」ぬいぐるみです。「ちりゅっぴ」は昨年11月に行われた、ゆるキャラグランプリで20位の成績を得ましたので、今後もその応援を含めて知立市の発展に寄与していきたいと思っております。また、この5年間に逝去された会員をしのび、これから私たちが向かうべき方向を考えました。私たちの合言葉は親睦と研鑽です。懇親会では名古屋ケントスによるオールディーズの演奏を楽しみました。

次年度はガバナー補佐を輩出いたします。まずは来年の西三河分区I. M. を成功させ、そしてこれから30周年に向けてクラブの新たなる発展を誓い無事に終了いたしました。

周年記念式典報告 II



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER May 2015-16 Rotary International District 2760

名古屋みなとロータリークラブ 創立50周年記念式典の報告

名古屋みなとRC 会長 杉江 豊文



名古屋みなとロータリークラブ創立50周年記念式典・祝賀会を2016年3月21日(祝)「にっぽん丸」船上にて挙行いたしました。ご来賓には愛知県知事大村秀章様・名古屋港利用促進協議会会長高橋治郎様を始め多数の皆様、国際ロータリー理事エレクト斉藤直美様、第2760地区ガバナー加藤陽一様、遠方より「東日本復興支援事業」協力クラブの仙台レインボークラブ・友好クラブの金沢みなとクラブの会員、当クラブがスポンサーである東海クラブ・名古屋丸の内クラブの会員、名古屋市内RC会長・幹事・地区役員各位にご臨席賜り総勢290余名で開催しました。

1966年(昭和41年)4月21日に名古屋西RCをスポンサーとして、26名で「名古屋港^{みなと}ロータリークラブ」は誕生しました。認証状伝達式典を「伊良湖丸」船上で行い、港ロータリークラブは出航いたしました。現在チャーターメンバーは杉浦弘君1名となりました。その後1999年(平成7年)に漢字「港」から平仮名^{みなと}「みなと」に名称変更して今日に至っています。

今年度のクラブ重点目標を「原点回帰」と定め、50年前認証状伝達式を船上で挙行了しました事に因み、「にっぽん丸」で開催いたしました。原点に戻り我々の地域である港区・中川区の更なる経済と観光産業の発展の一助となればとの思いからです。今日半世紀を迎えることが出来たのは、皆様のご指導とご努力の賜物です。またこの間2つの新クラブと1つのローターアクトクラブを設立し、多くの地区役員を輩出し、地区の活動にも協力して参りました。式典ではラビンドラン国際ロータリー会長からクラブ創立50周年表彰、チャーターメンバー杉浦弘君には50年在籍表彰を頂き、杉浦君の御礼挨拶に出席された皆様が感銘を受けました。祝賀会では、元中日ドラゴンズ立浪和義氏と国府宮はだか祭「饗追神事」平成28年神男池谷悟氏(中部名古屋みらいクラブ)の登場に盛り上がりました。

今後ともご指導ご鞭撻の程お願い申し上げまして、ご報告とさせていただきます。





豊橋南ロータリークラブ 創立50周年記念式典の報告

豊橋南RC 幹事 林 良宣



1966年4月に豊橋ロータリークラブを親クラブとして発足し、今年で50周年を迎えた豊橋南ロータリークラブは2016年4月2日(土)にホテルアソシア豊橋を会場に、来賓、ご招待者、会員の奥様を含め139名の出席で豊橋南ロータリークラブ創立50周年記念式典・祝賀会が催されました。開式に先立ち友愛広場では、会員の奥様の方々による手作りのお茶席も設けられ賑わいました。

第1部の式典は、17時30分より富安美孝会長の点鐘、出席者による国歌斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」の後、会長の挨拶で始まりました。そして同日に式典に先立って行われた、豊橋南ロータリークラブと東海日日新聞社の共同主催の「ピンクリボンセミナー」の特別講師のアグネスチャンさんも駆けつけ、お祝いのお言葉をいただきました。過去10年間の物故者の追悼、来賓の豊橋市長佐原光一様、2760地区ガバナー加藤陽一様、国際基督教大学学長日比谷潤子様よりご祝辞、クラブの沿革・活動紹介、後功労者会員に対して感謝状および記念品贈呈、50周年記念事業の発表と続き第1部の式典の閉会となりました。

18時30分より第2部の祝宴に移り、Rotary Club Quintet(RCQ)のオープニング演奏で始まり、鏡開きに続き東三河分区ガバナー彦坂育甫様の音頭による乾杯で祝宴が始まりました。RCQのBGMの中、食事・歓談が始まり、特に20年前に拡大にあたり移籍した豊橋東ロータリークラブのチャーターメンバーも久しぶりに顔をそろえ交流を深めました。さらにはアトラクションとして、東三河花男子プロジェクトにより花束作成パフォーマンスが披露されました。これは豊橋で採れた生花をテーマに合わせて即興で花束を作り競うというもので、出来上がった花束は壇上で会員より奥様にお渡しするという趣でした。

最後にロータリーソング「手に手つないで」を皆で歌い、河合秀矩50周年実行委員長によるお礼の言葉、会長の点鐘により閉会となりました。



名古屋錦ロータリークラブ 創立20周年記念例会の報告

名古屋錦RC 会長 石井弘子



2016年4月12日、熱田神宮会館に73人が集い、名古屋錦RC創立20周年記念例会を開催しました。会員の作詞作曲によるクラブソング「錦の御旗」に続き、会員を代表して、「常に環境を意識したユニークな活動と女性比率の高さで知られる家庭的なクラブに成長しました」と感謝のご挨拶。記念奉仕事業として、旧御園座社殿を岩手県陸前高田市愛宕神社に贈呈しました。旧御園座の

屋上社殿を修復し、震災後の盛り土工事のため社殿を失った岩手県陸前高田市愛宕神社に活用していただくというプランは、武田正典会員(朝日神社宮司)が旧御園座社殿の管理者として活用を思い立ち、石井会長が東海岩手県人会会長として被災地支援に尽力しており、現地に広いネットワークを持っていたという名古屋錦RCならではの人間関係から生まれました。愛宕神社の再建は3年～5年先と予想され、それまでの保管は、石井会長の知人の河野和義氏(陸前高田の醸造メーカー(株)八木澤商店会長・陸前高田RC会長)が名乗り出てくださいました。贈呈式には河野氏が出席し、現地の状況を説明。「人間関係こそ何よりの財産」と語り、「神社は人のつながりのシンボル。愛宕神社再建が地域のコミュニティー復活に役立つことを望みます」という三浦俊彦創立20周年記念事業実行委員長の言葉と共に深い共感を呼びました。

記念卓話は、当クラブの初代米山奨学生である信州大学准教授の金翼水氏。ナノファイバーの若き権威です。「応用性の高い有望な研究」と情熱的に語ってくださいました。懇親会のアトラクションは、櫻川直太郎さん(名古屋中RC会員)の幫間芸。幫間は今や全国に6人しかいない文化財的存在です。芸者衆を交えての伝統芸を楽しみました。





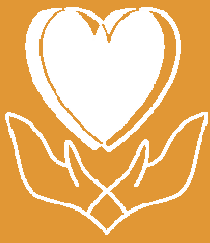
公共イメージ向上作戦・ロータリーのブランドを高めるために

RIは10数年前、創立100周年を迎えるにあたりロータリーを更に規模拡大させるため新たな戦略計画を立てた。更にそれを裏付ける形でCLP, DLPを同時期に導入した事は記憶に新しい。戦略計画によるクラブ強化、財団強化、広報強化の3点を推し進め、ロータリーの発展を期する一方、CLPではクラブの管理組織を改編し5大常任委員会を立ち上げ、その中に会員増強、財団、広報の3委員会を組み込んだ。

以上の事実から3大優先事項と銘打ったこの3点は現在我々ロータリアンが最も重要視し、且つ実現すべき約束事であると認識しなければならない。その3部門の中で特に我が国の「広報」は歴史的にマイナー扱いにされ、軽視されていたと思う。実際、ロータリーは一部の市民から金持ちの昼飯会とも誤解されたり、我々が記念物建立しても後面の片隅に小さくクラブ名を刻むだけ等、いわゆる陰徳精神が奨励されていた為か、どんなに良い奉仕をしても市民には我々の善意が十分に伝わらなかったし、地域社会にも正しく理解されていなかった。RIはそれらを踏まえ、諸々の情報を我々に「内部広報」としてゾーン、地区、クラブに流し続けて来た。一方、末端のクラブは夫々の奉仕活動を地区、ゾーンを経てRIへ計数的に報告するよう最近になって奨励し始めた。このような実績と戦略計画の周知徹底の努力の結果、ロータリーに関する積極的「外部広報」やそのスキルも少しずつではあるが洗練され、形が見えるようになって来たと思う。その実例として世界各地のロータリー奉仕活動は色んなメディアに取り上げられ、広く社会に詳しく報じられるようになった。その数や頻度は年々増え続けているのは大変喜ばしい。特にRIが熱心に進めるSNS(フェースブック、ツイッター等)の様なIT活用によるPR戦術は将来益々発達すると考えられるので、我々も遅れをとらないようにしたい。

さて、我々は110年の長きに亘り「超我の奉仕」を黙々と実行してきたが、ロータリーの地域社会における認知度は残念ながら僅か20%と誠に低く嘆かわしい。その為、RIはロータリーのブランディングを強く推し進めて来た。ブランドとして認知度の低いロータリーを有名ブランドに育てあげるのが我々の仕事である。しかしブランドとして認知されるのはロータリアンの力ではなく最終的に市民の選択である事を忘れてはならない。市民にロータリーをブランドとして認識してもらう為には普段からコツコツとクラブが、会員個人が地道に奉仕活動を続け、まず「認知」してもらう、「信頼」してもらう、「好意」を持ってもらう、そして今後「期待」してもらう、この繰り返しがロータリーブランド醸成の素地だと認識すべきであろう。

大切な事は我々ロータリアン一人一人が誰からも尊敬と信頼される社会人・職業人として存在する事が最高の広告塔であり、ブランディングの礎石でもあると確信します。



ハイライトよねやま 193

2016年4月12日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 2015-16年度もあと3カ月 —

3月までの寄付金は前年同期と比べ4.1%増、約4,800万円の増加です。普通寄付金が0.4%増、特別寄付金が6.0%増となり、特に単月寄付額で比較すると3月分の寄付額は2001年度以降、最高額となりました。ご寄付をいただきました皆様に心より厚く御礼申し上げます。今年度残すところ3カ月弱は、特別寄付金が主な寄付金収入となります。引き続き、当会奨学事業へのご支援をよろしくお願い申し上げます。



新奨学生オリエンテーションスタート

2016学年度の奨学生は751人となりました。新規採用数は554人、継続者は197人です(4月11日現在)。国・地域別では中国が40.1%、次いで韓国が15.3%、ベトナム12.5%、台湾4.3%の順となっています。近年ベトナム人奨学生の増加が著しく、2009学年度以降、台湾を抜いて3番目に多くなっています。プログラム別では、学部・修士・博士課程ロータリー米山記念奨学金715人(学部課程:251人、修士課程:287人、博士課程:177人)、地区奨励奨学金15人、クラブ支援奨学金6人、海外学友会推薦奨学金4人、海外自由応募奨学金11人となっています。

4月～5月中旬にかけて、各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは初めて学生とカウンセラーが会う場であり、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かくお迎えくださいよう願いたします。

韓国に米山学友会を母体とした衛星クラブが誕生

韓国にこのたび、米山学友会を母体としたロータリー衛星クラブが誕生しました！第3650地区セソウルRCのもとに創立された新しい衛星クラブの名は、「韓国米山セソウル・ロータリー衛星クラブ」。31人の創立会員全員が、韓国学友会に所属する米山学友です。

3月26日にソウル市内のホテルで開催された創立総会には、学友20余人のほか、李泳鎬^{イヨンホ}第3650地区直前ガバナーや朴虎君^{パクホクン}同地区次期ガバナー、南宮根^{ナムクン}セソウルRC会長などが出席して、新クラブの門出を祝いました。創立会長の林基元^{リンキウォン}さん(1989-91/佐野RC)は、「会員は皆、米山の学友で、ロータリー精神を引き継ぐ人たちです。今後さらに会員を増やし、発展に努めたい」と、意欲を見せます。また、韓国学友会会長を務める全炳台^{ジョンビョンテ}さん(1980-83/仙台北RC)は、「クラブ創立を検討・準備する過程で学友同士が親しくなり、学友会の関係がとて良くなった。学友会と衛星クラブ合同の奉仕活動やシンポジウムなど、互いに協力して新しい活動を計画していきたい」と、語りました。



タイ米山学友会が総会を開催 — 新役員が決定 —

3月13日、タイ米山学友会総会がバンコク市内で開催され、学友19人のほか、ビチャイ・ラタクル元国際ロータリー会長、日本のロータリアンら計33人が出席しました。2年に1度の役員改選では、新会長にシュティカーン・テプサンさん（1993-95/新大阪RC）、副会長にアヌチャー・ポリブーンさん（1993-95/豊橋北RC）とワラウット・ブンロッドさん（1995-97/福岡東南RC）、そのほか理事と幹事3人が選任されました。

同学友会は2012年に創立後、海岸清掃や児童養護施設への慰問などを行っています。シュティカーン・テプサン新会長は、「日本の米山奨学金をいただいた仲間とともに、社会貢献と交流活動を引き続き実施します。会員を増やして互いのコミュニケーションを深め、皆の意見を聞きながら年間計画を作成する予定です。また、タイだけでなく他国の学友、日本やタイのロータリークラブとの交流活動も実施していきたいです」と、抱負を語ってくれました。



ネパールで被災者への奨学支援をスタート！



昨年4月に発生したネパール大地震への義援金として、日本全国のロータリアン、米山奨学生・学友から総額14,042,247円の義援金が寄せられました。予想を超える多額の義援金をいただいたため、ネパール米山学友会では当初の計画を練り直し、奨学基金を設立して被災学生を対象とする教育支援に着手することを決定しました。

今年1月、新聞広告による奨学生の公募を開始、2月に学友会役員会による選考がカトマンズ市内で行われ、157人の申込者（うち有資格者76人）のうち、小学校4年生から高校3年生までの24人が合格しました。3月26日には学友会役員と保護者および本人との面談が行われ、家庭環境の確認のほか、勉学に励むことなど奨学生としての心得が伝えられました。奨学金は1人につき年額10,000ルピー（約1万円）、成績によって継続支援も可能としています。

Go Go Seoul! ソウル国際大会情報

「米山学友合同懇親会in Seoul」のご案内



- ・日時：5月28日(土) 18:30～(受付開始18:00～)
- ・場所：ノホテルアンバサダー江南ホテル
- ・登録料：●ロータリアン：8,000円/人 ●学友・奨学生：5,000円/人
●子ども(小学生以下)：3,000円/人
- ・申込み方法：当会ホームページから案内をダウンロードして、案内の中の登録用紙にご記入いただき、FAXかメールで、米山奨学会までお送りください。また、登録料を米山奨学会口座にお振り込みください。
- ・申込み締切：5月5日まで(ただし、定員に達し次第、締め切らせていただきます)



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「ロータリアンの矜持」

- ◆「ロータリアンの矜持」藤川享胤／2015／1p (D.2800月信)
- ◆「ロータリーの親睦」松田泰長／2016／1p (D.2790月信)
- ◆「親睦の真意は」櫻木英一郎／2016／1p (D.2790月信)
- ◆「“そよ風に 稲田のかおり 山深し”(ロータリーに輝きを)」久野 薫／2015／1p (D.2680月信)
- ◆「ロータリーのバッジはいいバッジである」塚原房樹／2015／1p (D.2510 月信)
- ◆「いま求められる寛容の精神“Toleration”」塚原房樹／2016／2p (D.2510 月信)
- ◆「続・国際ロータリーの変質」新藤信之／2015／20p
- ◆「『クラブ戦略委員会に関するアンケート』回答要約」村橋義晃／2016／2p (D.2660月信)
- ◆「ロータリー創立記念日に纏わる遊び種」神崎正陳／2010／9P

〈 ロータリー文庫 〉

申込先 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階 TEL／(03)3433-6456 FAX／(03)3459-7506
開館／午前10時～午後5時 休館／土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

**第2760地区
HPより、
随時受付中!**

2015-16年度〈ガバナー月信〉個人配信 登録方法

HPアドレス▶ <http://www.rotary2760.org/g15-16/go/monthly.html>

1 上記のHPアドレス、もしくは第2760地区のHPトップの「ガバナー月信 登録受付中」のバナーよりページを開く。

2 登録フォームに自分のメールアドレスを2回入力して、登録ボタンをクリックして登録完了となります。

登録された方には、月初めに月信PDFのリンクが記載されたメールが送信されます。メール内のURLをクリックするだけで月信PDFがダウンロードされ、閲覧していただけます。

※前年度登録されていた方は、再登録の必要はありません



会員数及び出席報告 (2016年3月末)

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER May 2015-16 Rotary International District 2760

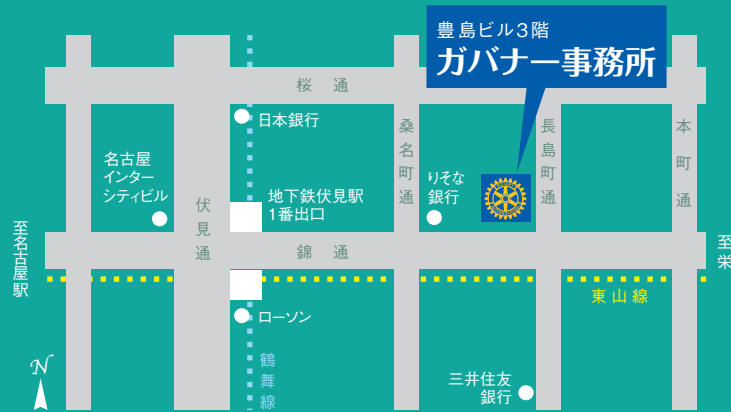
クラブ名	会員数			入会			退会			例 会 数	3月 出席率
	2015年 7月1日	2015年 7/1女性	2016年 3月末日	当月 女性	3月	累計	3月	累計			
南尾張分区	半田	61	4	62	4	0	5	0	4	4	100.00%
	常滑	33	0	41	0	0	8	0	0	4	90.76%
	東海	59	3	58	3	0	1	1	2	5	94.45%
	東知多	23	1	24	1	0	1	0	0	5	80.83%
	半田南	36	1	36	1	0	1	0	1	4	93.36%
	知多	24	2	25	2	0	1	0	0	3	81.39%
	大府	14	0	16	0	0	2	0	0	4	82.86%
	7RC	250	11	262	11	0	19	1	7	7	89.09%
	一宮	86	1	99	2	4	14	0	1	4	96.27%
	津島	67	4	66	4	0	0	0	1	4	99.22%
	尾西	17	1	21	1	1	4	0	0	3	93.57%
	一宮北	38	3	39	3	0	3	0	2	3	94.75%
	稲沢	51	1	48	1	0	0	0	3	5	89.19%
	あま	79	2	77	1	0	1	0	3	3	100.00%
	名古屋清須	31	2	31	2	0	0	0	0	4	83.65%
	尾張中央	30	0	31	0	0	1	0	0	4	91.16%
	一宮中央	43	6	43	6	0	0	0	0	5	91.63%
	9RC	442	20	455	20	5	23	0	10	10	93.27%
西尾張分区	瀬戸	61	6	61	5	0	1	1	1	4	97.51%
	犬山	61	0	61	0	0	1	0	1	5	100.00%
	江南	48	0	50	0	1	2	0	0	4	94.37%
	小牧	29	2	30	2	1	2	0	1	4	89.67%
	春日井	57	2	61	2	2	6	1	2	4	99.17%
	尾張旭	22	1	21	1	0	0	0	1	4	98.81%
	名古屋空港	50	1	51	1	0	1	0	0	3	99.28%
	瀬戸北	63	6	59	6	0	1	1	5	4	100.00%
	岩倉	14	1	13	1	0	1	0	2	4	98.08%
	名古屋城北	25	4	26	4	0	1	0	0	4	96.69%
	愛知長久手	18	4	20	5	0	2	0	0	4	96.25%
	愛知ローターEクラブ	18	4	25	6	0	7	0	0	5	100.00%
	12RC	466	31	478	33	4	25	3	13	13	97.49%
東尾張分区	名古屋	179	0	182	0	0	11	3	8	5	87.32%
	名古屋西	99	0	102	0	0	6	1	3	5	85.90%
	名古屋南	113	0	115	0	0	6	3	4	5	97.40%
	名古屋みなと	69	0	71	0	0	2	0	0	4	100.00%
	名古屋東南	81	7	78	7	0	6	3	9	5	87.68%
	名古屋中	134	0	136	0	0	2	0	0	3	99.73%
	名古屋瑞穂	66	0	65	0	0	2	2	3	4	93.80%
	名古屋大須	57	5	56	5	0	1	0	2	5	90.80%
	名古屋栄	86	0	88	0	0	4	0	2	3	95.37%
	名古屋名南	53	9	56	10	0	4	0	1	4	92.90%
	名古屋名駅	80	6	79	6	0	2	1	3	4	99.31%
	名古屋丸の内	50	7	49	6	0	3	0	4	4	95.58%
	中部名古屋みらい	21	6	20	6	0	0	0	1	5	53.33%
	13RC	1,088	40	1,097	40	0	49	13	40	40	90.70%

クラブ名	会員数			入会			退会			例 会 数	3月 出席率
	2015年 7月1日	2015年 7/1女性	2016年 3月末日	当月 女性	3月	累計	3月	累計			
東名古屋分区	名古屋北	93	0	100	0	1	9	0	2	4	99.36%
	名古屋東	88	0	89	0	0	3	0	2	3	92.06%
	名古屋守山	40	3	37	3	0	0	0	3	5	94.11%
	名古屋和合	105	0	108	0	0	5	1	2	4	81.03%
	名古屋名東	65	9	63	10	0	1	0	3	4	93.54%
	名古屋名北	37	5	37	5	0	0	0	0	5	93.09%
	名古屋千種	38	3	38	3	0	1	1	1	5	92.85%
	名古屋昭和	52	2	54	4	1	4	0	2	3	99.31%
	名古屋錦	28	9	28	10	0	1	0	1	5	87.10%
	名古屋東山	32	7	34	7	0	2	0	0	4	88.25%
	名古屋葵	20	0	20	0	0	0	0	0	5	68.00%
	名古屋アイリス	37	14	37	14	0	2	0	2	5	86.49%
	12RC	635	52	645	56	2	28	2	18	18	89.60%
東三河分区	豊橋	113	3	111	3	0	3	3	5	4	92.02%
	蒲郡	54	0	58	0	2	6	0	2	4	90.09%
	豊橋北	70	4	68	4	0	2	3	4	5	98.84%
	豊川	73	1	73	1	0	2	1	2	5	94.09%
	田原	41	1	39	1	0	0	0	2	4	98.65%
	豊橋南	56	0	56	0	0	2	0	2	3	97.86%
	新城	43	2	50	2	0	7	0	0	4	86.36%
	渥美	34	0	33	0	0	0	0	1	3	94.44%
	豊川宝飯	60	2	62	2	2	3	0	1	4	89.14%
	豊橋ゴールデン	63	2	64	2	0	3	1	2	4	94.49%
	田原パシフィック	48	1	49	1	0	3	0	2	5	91.68%
	豊橋東	40	0	43	1	0	3	0	0	5	86.51%
	12RC	695	16	706	17	4	34	8	23	23	92.85%
西三河分区	岡崎	92	4	85	4	2	3	4	10	5	100.00%
	豊田	97	0	96	0	0	5	1	6	4	98.61%
	岡崎南	92	2	90	2	0	1	1	3	4	100.00%
	豊田西	96	0	98	0	0	7	0	5	3	100.00%
	岡崎東	58	1	56	2	0	2	0	4	4	98.09%
	豊田東	77	0	77	0	0	2	0	2	4	92.49%
	岡崎城南	69	0	68	0	0	1	0	2	5	94.91%
	豊田三好	21	0	21	0	0	0	0	0	3	89.44%
	豊田中	42	6	47	7	0	8	1	3	4	96.03%
	9RC	644	13	638	15	2	29	7	35	35	96.62%
	刈谷	91	6	93	6	0	5	2	3	3	100.00%
	安城	59	5	58	6	0	1	0	2	4	96.43%
	西尾	78	1	76	1	0	2	1	4	4	91.33%
西三河分区	碧南	68	3	70	4	0	6	1	4	5	100.00%
	西尾一色	26	0	28	0	0	3	0	1	4	98.21%
	高浜	31	2	32	2	0	4	1	3	5	100.00%
	知立	61	0	62	0	0	2	1	1	4	100.00%
	西尾KIRARA	57	1	56	1	0	1	1	2	4	100.00%
	三河安城	63	6	63	6	0	1	0	1	5	95.70%
	9RC	534	24	538	26	0	25	7	21	21	97.96%

	クラブ	平均
平均出席率	83	93.45%

地区内クラブ数 83RC	7月1日会員数	4,754名 (内女性/207名)	増加会員数 (累計)	232名
	3月末会員数	4,819名 (内女性/218名)	減少会員数 (累計)	167名
	当月平均出席率	93.45%	差引純増会員数 (累計)	65名

3月	入会	退会	純増
	17名	41名	-24名



〒460-0003 名古屋市中区錦二丁目15番15号 豊島ビル3階

ガバナー事務所

TEL. 052-201-2760 FAX. 052-201-1670
E-mail. governor15-16@rotary2760.org

ガバナーエレクト事務所

TEL. 052-203-2760 FAX. 052-201-1670
E-mail. governor16-17@rotary2760.org

ロータリー財団

TEL. 052-211-2760 FAX. 052-211-0230
E-mail. fbranch@rotary2760.org

米山記念奨学・青少年交換

TEL. 052-228-0808 FAX. 052-211-0230
E-mail. ybranch@rotary2760.org (米山記念奨学)
yebranch@rotary2760.org (青少年交換)



国際ロータリー〈第2760地区〉

ガバナー 加藤 陽一